

# 東駿河湾都市圏都市交通マスタープラン 交通施策の進捗状況

【R8.3時点】

東駿河湾都市圏が目指す都市交通像			取組件数	うち完了
交通・観光の要衝として 活発な交流を生み出し 活力、安全・安心を支える交通ネットワーク			330	181
方針Ⅰ ◆拠点集約型都市構造の実現に向けた交通体系の確立			133	64
活力	戦略1	都市圏の骨格軸の形成	31	16
	戦略2	都市拠点の魅力向上につながる交通施策の展開	65	29
	戦略3	地域間の連携を確保する交通基盤の整備	37	19
方針Ⅱ ◆安全・安心で快適な生活を支える交通体系の確立			137	73
安全・安心	戦略4	高齢者をはじめ誰もが便利な移動手段の確保	46	35
	戦略5	健康で文化的な暮らしを支える交通施策の展開	64	31
	戦略6	災害に強く安心して移動できる交通施策の展開	27	7
方針Ⅲ ◆交流促進・連携強化による観光を支援する交通体系の確立			60	44
交流	戦略7	高速・広域交通ネットワークの活用	10	6
	戦略8	観光交通に対応した交通施策の展開	50	38

## 【個別の施策進捗状況】

- 沼津市にて面的な歩行者環境の充実として、原駅町沖線の整備が完了(R6完了)。
- 伊豆市にて面的な歩行者環境の充実として、修善寺駅周辺の規制該当地域に対し交通管理者による規制の周知を実施。
- 長泉町内の(都)高田上土狩線(214m)にて、電線共同溝の整備により、無電柱化を実現し、快適な歩行者・自転車空間の創出を図った(R7末開通)。
- 御殿場市ほかにおいてSNS等を活用し、JR御殿場線沿線地域の魅力発信を強化しながら、沿線市町とJR東海が連携・協力して、急行「マルシェトレイン御殿場2025」をR7.11に運行し、沿線地域の活性化を図った。

等